

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2021-129883(P2021-129883A)

【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2021-042

【出願番号】特願2020-27684(P2020-27684)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	5/04	6 5 1
A 6 3 F	5/04	6 5 3
A 6 3 F	5/04	6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月26日(2021.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特定遊技状態を制御可能な特定遊技状態制御手段と、
演出を制御可能な演出制御手段と、
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、
前記演出制御手段は、
前記特定遊技状態においてエンディング移行条件が成立したときに、エンディング演出
を開始可能であり、
予め設定された分岐条件の成立の有無に応じて、実行される前記エンディング演出のう
ち少なくとも一部を異らせることが可能であり、
前記特定遊技状態の終了時演出が複数種類設けられ、
実行された前記エンディング演出の種別に応じた種類の前記終了時演出が実行可能であ
り、
前記分岐条件には、前記エンディング移行条件の成立時に特定の演出状態に滞在してい
ることが含まれる
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、従来、A T等の有利な遊技状態が終了するまでの期間に、エンディング演出を行
う遊技機が知られている(例えば、特許文献1参照)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献1】特開2018-68506号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

しかしながら、上記特許文献1で提案されている技術では、エンディング演出のパターンは予め定められた1つのパターンのみである。それゆえ、このような従来の技術では、エンディング演出を1回見た遊技者は、その時点で満足してしまい、それ以降、遊技の興趣が低下するおそれがあった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、本発明の目的は、エンディング演出の実行機能を備えた遊技機において、エンディング演出のゲーム性を高め、エンディング演出に対する遊技の興趣の低下を抑制することである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

遊技者に有利な特定遊技状態（例えば、後述のAT状態、有利区間等）を制御可能な特定遊技状態制御手段（例えば、後述の主制御基板71）と、

演出を制御可能な演出制御手段（例えば、後述の副制御基板72）と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段（例えば、後述のAランプ300a～Eランプ300e、表示ユニット100、第1サブ表示装置201等）と、を備え、
前記演出制御手段は、

前記特定遊技状態においてエンディング移行条件が成立したときに、エンディング演出を開始可能であり、

予め設定された分岐条件の成立の有無に応じて、実行される前記エンディング演出のうち少なくとも一部を異らせることが可能であり、

前記特定遊技状態の終了時演出（例えば、後述のリザルト画面表示演出）が複数種類設けられ、

実行された前記エンディング演出の種別に応じた種類の前記終了時演出が実行可能であり、

前記分岐条件には、前記エンディング移行条件の成立時に特定の演出状態（例えば、後述のEXB-ED状態中の演出状態）に滞在していること（例えば、後述の分岐条件3）が含まれる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記構成の遊技機によれば、エンディング演出のゲーム性を高め、エンディング演出に対する遊技の興趣の低下を抑制することができる。